

第三者評価結果公表基準（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

NPO法人だれにも音楽祭

②評価調査者研修修了番号

SK2021277（熊本県17-004号）

S2023068（熊本県14-004号）

熊本県9-004号

③施設名等

名称：	八代乳児院
施設長氏名：	山下 誠
定員：	15名
所在地(都道府県)：	熊本県
所在地(市町村以下)：	八代市郡築十二番町71-2
T E L：	0965-37-2227
U R L：	https://yatsu-nyu.sakura.ne.jp
【施設の概要】	
開設年月日	1977/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 八代児童福祉会
職員数 常勤職員：	33名
職員数 非常勤職員：	2名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	14名
有資格職員の名称（イ）	看護師
上記有資格職員の人数：	5名
有資格職員の名称（ウ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（エ）	調理師
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（オ）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	
施設設備の概要（ア）居室数：	ほふく室、寝室1、2、観察室
施設設備の概要（イ）設備等：	相談室、調乳室、子育て短期利用居室、沐浴室、診察室、ナーススペース
施設設備の概要（ウ）：	診察室、調理室、食堂、浴室、洗濯室、、トイレ、院長室、事務室
施設設備の概要（エ）：	休憩室、研修室2室、親子訓練室、リネン室、子育て支援室居室3室

④理念・基本方針

子ども達が最善の環境の中で、健康で心豊かに成長できるように、又、子どもの生活・医療・教育が守られ、子どもの福祉が最優先される施設運営に努めます。

⑤施設の特徴的な取組

人肌と木肌のぬくもりの中で、家庭に勝る子育て及び、人を愛する譲渡著豊かな人格の形成がなされるように努めます。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2024/5/1	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2024/9/3	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成30年度（和暦）	

⑦総評

◆特に評価の高い点

1 院長の役割

院長は、全国乳児福祉協議会協議員、熊本県社会福祉法人経営者協議会理事、熊本県養護協議会副会長、熊本県社会的養育推進計画ワーキンググループ委員等を担い、社会福祉事業の動向を把握、分析しています。また、地域の民生委員児童委員や行政からも情報を得ながら、取り組んでいます。

その他、年に1度、全職員と個別の面談を行い、意見を聴取し働き方の改善などを行っています。

2 外部監査の実施

税理士の参画の元、社会福祉法人八代児童福祉会社会福祉充実計画を作成しています。

3 「より適切ななかかわりをするためのチェックポイント」実施

年度初めに、「より適切ななかかわりをするためのチェックポイント」を全職員で実施し、支援の質の向上を図っています。

4 ケース検討会議

毎月のケース検討会議で、子ども一人ひとりの目標をきめ細やかに定め、職員間で共有しています。

5 職員の子どもに対する対応

午睡時の起床や、食事介助の際、子どもたちへのとてもやさしい言葉かけが行われていました。

◆改善を求められる点

1 マニュアルの整備

① ボランティア受け入れのマニュアル

ボランティア受け入れに関する基本姿勢の明文化、事前説明、登録、申込手続き、実施状況等に関する項目が記載されたマニュアルの見直しと整備

② 子どものプライバシー保護・虐待防止、権利擁護に関する規程マニュアルの整備

③ 意見、要望対応マニュアル

意見や要望を受けた後の手順、具体的な検討、対応方法、記録方法、結果の説明等の仕組みを効果的にするためのマニュアルの整備

④ BCP（事業継続計画）の整備

災害が発生した際に、子どもたちの支援が滞りなく行えるように、非常時の連絡体制や職員の勤務体制の整備が望まれます。

2 中・長期的なビジョン

施設として目標（ビジョン）「どのような施設になっていきたいのか」を、文書化等により明確にし、組織全体として、職員の参画のもと、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）のシステム構築が期待されます。

3 期待する職員像の明記

上記、中・長期的なビジョンを明確化した上で、その実現のために、それぞれの階層の職員に対して、「期待すること」を明記することが望まれます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

この第三者評価を受け、調査員の方々の説明を受けながらヒアリングを行うことで理解をし評価を進めることが出来ました。今回の評価を真摯に受け止め、課題となった点は改善に取り組んでいきたいと思ひます。これからも社会的養護を必要とするこども達が安心、安全に生活し成長発達できる環境づくりに努めたいと思ひます。今回の受審にご協力いただいた評価機関、調査員の方々丁寧に評価していただきありがとうございました。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

（１） 理念、基本方針が確立・周知されている。□		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【判断した理由・特記事項等】 理念、基本方針は、初代院長の意思を受けて、教育目標、指導方針として明示され、パンフレットが作成されています。来訪されたボランティア、民生委員、行政機関に配布されています。保護者には措置受け入れ時に説明しています。 広報誌については、官公庁、関係施設、学校等に500部ほど配布しています。 職員には、年度当初に院長より周知され、新入職者には、入職時のオリエンテーションで説明されています。		

2 経営状況の把握

（１） 経営環境の変化等に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 院長は、全国乳児福祉協議会の協議員や、熊本県社会福祉法人経営者協議会の理事、熊本県養護協議会の副会長、熊本県社会的養育推進計画ワーキンググループ委員等を担い、社会福祉事業の動向を把握、分析しています。また、地域の民生委員児童委員や行政からも情報を得ながら、取り組んでいます。 税理士の参画の元、社会福祉法人八代児童福祉会社会福祉充実計画として、作成しています。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【判断した理由・特記事項等】 年間を通じて、経営状況、入所状況等の変動がありますが、職員にも職員会議等で現状を共有し、協力を求めながら検討を行っています。実際にそれにより、一時保護委託による短期間の乳児の利用の増加のため、人手が必要な時間への職員の勤務配置を行う等、具体的な対応を臨機応変に行っています。 理事会を年に2～3回開き、院長より経営状況を報告しています。		

3 事業計画の策定

（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 中・長期計画は、令和3年度～12年度まで、社会福祉法人八代児童福祉会社会福祉充実計画として、税理士の参画の元、作成されています。基本的事項、事業計画、社会福祉充実残額の用途に関する検討など詳しく記載され、5年に1回見直しを行っています。施設として目標（ビジョン）「どのような施設になっていきたいのか」を院長より理事会や職員会議等で説明をされていますが、今後は、文書化するなどをして、より明確にすることが期待されます。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 単年度事業計画は、年間保育計画表の中に、行事や保育のねらい、環境整備など具体的に記載され、一つの事業に対して、「各係の担当」「研究グループ」「防災担当」等、役割を決めて実施しています。 近年の入所状況を踏まえたり、新型コロナウイルス等の感染症に関する内容も踏まえた計画になっています。 中・長期計画に基づいた単年度の事業計画になっていませんでした。		

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【判断した理由・特記事項等】 事業計画は、年度末に、職員会議で、院長を中心に職員の意見を参考にしながら作成し、新型コロナウイルスによる行事の変更や実習生の宿泊を通いに変更する等、職員参画のもと、検討しながら取り組んでいます。 事業計画の実施状況については、担当者が事前に「伺い書」を使用し、必要事項を記入後、院長等の了解のもと実施され、報告書の作成をしています。		
②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
【判断した理由・特記事項等】 運動会や観月会、ひな祭りなどの行事については、保護者に説明を行ったり、その子どもの誕生日にあわせて保護者への案内をしたり、タブレットで写真を送ったりするなど、可能な限り工夫をしています。 事業計画について、今後、保護者に向けてよりわかりやすく説明を行う取組が期待されます。		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
【判断した理由・特記事項等】 第三者評価の受審はされていますが、年に1回以上の自己評価が行われていません。 養育、支援の質の向上について、毎月ケース検討会議を行ったり、年に1回「適切なかかわりをするためのチェックポイント」を使用しての取組等行っていますが、評価、分析するシステムが構築されていません。今後の取り組みが期待されます。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
【判断した理由・特記事項等】 経営課題について、職員会議等で課題の共有はなされていますが、組織的、計画的には行われていません。 職員アンケートの実施や、院長による個別面談等を実施して、職員の思いを聴く機会を設けていますが、それを元とした質の向上が期待されます。 改善状況の共有から、各種のマニュアル作りを全職員で取り組み、内容が充実されることが期待されます。		

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 職務分掌表において、職務内容、責任、役割、担当等が明記されています。 職員会議等で、乳児院の経営や管理に関する方針と取組について伝えています。 院長不在時の権限は主任に委任しています。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 院長は、法人、施設独自の社会福祉経理規定を、税理士の参画のもと作成し、内容は多岐にわたって記載されています。また、全国乳児福祉協議会の協議員や、熊本県社会福祉法人経営者協議会の理事、熊本県養護協議会の副会長、熊本県社会的養育推進計画ワーキンググループ委員等を担いながら、法令遵守の研修会に参加し、研鑽しています。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】 虐待等により入所している子どもの状況把握のために月1回、ケース検討会議を開き、より質の高い養育ができるように努めています。 外部の研修会として、給食、乳児研修、虐待、心理、行事など多岐にわたり、職員が参加し研鑽し、情報を共有しています。 内部の研修会として、全職員で子どもの権利、アドボカシーについての研修を行っています。		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】 院長は、働きやすい職場や環境の取り組みについて、職員の意見を参考にしながら作成し、新型コロナウイルスによる行事の変更や実習生の宿泊を通いに変更する等、具体的な改善を図っています。 就業規則等の規程は、税理士の監修のもと、乳児院独自で作成され、人事、休職、解雇、服務心得等詳しく記載され、指導力を発揮しています。		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 実習生の受け入れも積極的に行い、採用につながったケースもあります。 有料や無料の人材紹介業者等の活用を行い、人材の確保に努める等、様々な取組を行っています。 乳児院として、職員配置の最低基準は満たしており、個別対応職員等の加算職員も積極的に配置していますが、心理療法担当職員が配置されていません。今後、組織として、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画の確立と取組が期待されます。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】 就業規則に人事基準を定めています。保育士から社会福祉士を取得した職員には、役職付き特例昇給として給料アップをしています。院長による個別面談が年に1度行われ、職員の意向を聞きながら改善を検討しています。 職員アンケートを実施しており、アンケートの様式は確認できましたが、アンケートの結果の記録を確認することができませんでした。「期待される職員像」が明確にされていないので、策定が望まれます。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 職員の福利厚生として、ソウエルクラブを利用しています。 年休取得状況や、時間外勤務データも記録され、緊急な勤務変更についても、主任を中心に臨機応変に対応しています。 院長は、年末から年度末にかけて、全職員と個別の面談を行い、就業状況の把握に努めています。今後、組織として、職員がより相談しやすい仕組みの構築、例えば定期的で計画的な面談の実施や外部の相談窓口の設置等が期待されます。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】 年度初めに、「より適切ななかかわりをするためのチェックポイント」を全職員で実施し、支援の質の向上を図っています。 院長は、年末から年度末にかけて、全職員と個別の面談を行っています。 施設として、「期待される職員像」を明確にした上で、職員それぞれの個別の目標項目や、目標水準設定等の取組が期待されます。		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 毎月のケース検討会議で、子ども一人ひとりの目標をきめ細やかに定め、職員間で共有しています。 専門分野に応じて、たくさんの研修に参加し、職員会議やケース会議で職員に報告されているようですが、報告の記録を確認することができませんでした。「期待する職員像」を明示した上で、それぞれの職員に望まれる専門の技術や資格の明示、それに伴った各職員に応じた教育、研修計画の策定と実施が期待されます。		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 事業計画に、「職員研修及び行事予定表」一覧が策定されています。新人職員研修、乳児研修会、施設長会、ケアワーカー部会等、様々な分野での研修会が計画され、専門性の向上に努めています。 スーパービジョンの体制が確立されていません。職員の専門性や施設の組織力の向上のために取組が期待されます。		

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
【判断した理由・特記事項等】 実習生を積極的に受け入れており、実習前には、「実習生オリエンテーション」や「施設実習の手引き」を活用して、乳児院を実習する時の自覚と信念、望ましい実習生の態度として等、詳しく説明しています。 受け入れる職員は「実習生チェック表」を用いて、指導にあたっていますが、実習生への実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されていません。施設としての基本姿勢を明文化した上で、専門職種の特性に応じたプログラムを用意したり、指導を行う職員への研修の実施が望まれます。		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】 広報誌を年に2回、官公庁、関係施設、学校等に500部ほど配布しています。 法人、施設のホームページ等で、理念や基本方針、事業計画や決算等を公開していますが、令和4年度以降、更新されていようです。定期的な更新と公開が望まれます。 苦情はほとんどあがっていないため、公表はされていません。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 法人としての経理規定に、事務、経理、取引に対してのルールが明示され、職員にも周知されています。 外部の専門家として、税理士と委託契約を結び、毎月の会計チェック、アドバイスをもらっています。また、令和3年度から12年度までの社会福祉充実計画の策定にも携わってもらい、中・長期的な計画を進めています。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】 現在は、新型コロナウイルス感染症の関係で実施できていませんが、老人ホームへ訪問したり、来訪してもらったり、秋には、観月会を開催し、民生委員児童委員、婦人会、ボランティアの方々と懇談会を兼ねて交流を行い地域との連携を深めていました。今年度は、状況をみながら、秋祭りを開催予定です。 日頃から、地域のお店に子どもと共に買い物に行ったりして、地域との交流を図っています。 施設としての、地域との関わり方を明確にした文書がないので、策定による明示化が望まれます。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
【判断した理由・特記事項等】 新型コロナウイルス感染症の影響で、現在はボランティアの受け入れは行っていませんが、以前は、民生委員児童委員の「抱っこボランティア」や高校生のボランティアを受け入れたり、観月会にもボランティアの方々に来てもらっていました。 ボランティア受け入れについて、手順や注意事項等が記載された資料はありますが、基本姿勢、事前説明、登録手通し、実施状況等に関する項目が記載された、マニュアルの整備が期待されます。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 関係機関との連携は、家庭支援専門相談員を中心に各機関、団体への連絡調整や児童相談所と連携して、里親への委託推進と対応等が行われています。 関係機関・団体のリストや資料を作成し、職員が閲覧できるようになっています。 職員への周知は、月1回の職員会議とケース検討会議の中で伝達されて、共有化が図られています。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【判断した理由・特記事項等】 地域の子育て家庭から、子育てに関する相談が電話等であった際は、内容に応じて勤務している保育士や看護師が対応しています。必要に応じて、関係機関の紹介等が必要な時は調整を行い、地域福祉の向上のための取組を行っています。 今後、施設の活動を知らせる取組や施設のスペースを活用した研修会等、地域交流及び貢献の活動が期待されます。		
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】 院長は、八代市社会福祉協議会の評議員を担っており、その会議の中で依頼のあった、支援の必要な家庭への衣料や食料（離乳食）等の提供を行う等しています。里親支援専門相談員が、地域のマルシェに参加して協力しています。 熊本県社会福祉法人経営者協議会が実施している「生活困窮者レスキュー事業」への協力を行っています。 地域の福祉ニーズ等を把握した上で、具体的な事業・活動の計画等の策定が期待されます。		

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 全国乳児福祉協議会が作成している「倫理綱領」や「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を使用し、全職員に配布すると共に職員会議で共有しています。 職員が共通理解を得るために、毎日の朝礼や毎月の職員会議、ケース検討会議等で伝達され、意識向上を図り、個々の養育、支援の実施に反映される取組を行っています。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】 子どもの持ち物や衣服に関して、第三者が見て、その子の名前がすぐに分かることがないように、名前を大きく記入しないなど、配慮しています。 広報誌等については、入所時の保護者への説明の際に、掲載についての意志を丁寧に確認し、尊重しています。 施設の特性に応じた、子どものプライバシー保護や権利擁護、虐待防止に関する「規程・マニュアル」の整備が期待されます。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【判断した理由・特記事項等】 入所の際は、パンフレットや「乳児院での生活について」等の資料を用いて、で事業内容、養育支援の方針や活動内容を、写真、図、絵を使用して説明をしています。 入所予定の保護者には、パンフレット等を用いて、丁寧に説明を行っています。 入所前の見学の希望があった際は、対応しています。中には入所につながったケースもあります。		
②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
【判断した理由・特記事項等】 養育支援の開始時には、「乳児院での生活について」「八代乳児院での生活についての同意書」「面会・外出・外泊のご案内」「予防接種実施依頼について」等の書面を用いて、支援の具体的な内容や留意事項等の聞き取りを行いながら、保護者への丁寧な説明を行っています。養育の過程については、保護者が面会に来院された時に、家庭支援専門相談員が中心となって、面談を行い、その内容を記録しています。		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 措置変更、地域・家庭への移行時は、「現在の日常生活」「退所持参品リスト」担当保育士による「まとめ」等の文書を作成し、それをもとに面談によるきめ細やかな引継ぎが行われています。 食事、排泄、睡眠、着脱、清潔、健康、言葉、遊び、病気及び予防接種等が記入されており、継続性に配慮した内容になっています。		

(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 保護者の意向は、家庭支援専門員が中心となって、面会や連絡の際に希望や意見を聞き取り、満足の向上に努めています。 毎月行っている職員会議やケース検討会議等において、現場で子どもの状況を見ているケース担当職員が代弁者として様々な意見や提案を行い、また、家庭支援専門相談員や個別対応職員等の専門職も参画し検討しています。		
(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】 苦情解決体制が整備され、「苦情申出窓口の設置について」の文書や「苦情解決の流れ」等のマニュアルも整備されています。 保護者への周知については、「乳児院での生活について」を用いて説明を行っています。 事務所の入口に意見箱がありますが、これまで苦情の申出がありません。社会福祉事業所として「苦情は宝」の観点から、より苦情が出やすい組織的な環境整備の取組が期待されます。		
②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
【判断した理由・特記事項等】 相談や意見は、家庭支援専門員を中心に、子どもの受け持ち職員が、保護者の面会時に対応しています。 事務所棟の1階の「子育て支援棟」を使用し、相談しやすい環境に配慮しています。 「乳児院での生活について」を用いて説明する際に、家庭支援専門相談員やケース担当者も同席し、相談や意見がある時は保護者自身が相手を自由に選べる環境整備を行っています。		
③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
【判断した理由・特記事項等】 保護者からの相談や意見は、家庭支援専門相談員を中心に各担当職員とともに対応に努めています。 相談内容は記録され、月1回のケース検討会議や職員会議で検討が行なわれ、養育支援の向上に取り組んでいます。 意見や要望、提案等を受けた後の手順、具体的な検討、対応方法、記録方法、結果の説明などの仕組み等、マニュアルの整備が期待されます。		
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 「インシデント・アクシデント報告書」に発生場所、薬関係、飲食関係等、詳細な内容が記入され、それをもとにケース検討会議で検討されています。 職員研修として、年1回消防署の協力を得てAEDの使い方や心肺蘇生法等について研修を行っています。 「事故発生時の対応マニュアル」が整備され、対応手順が明確に示されています。		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を策定し、対応を図っています。 感染予防として、手洗いとうがい、熱風殺菌乾燥機での手指消毒、マスク着用、オゾン発生器の導入などに努めています。 感染症に関する勉強会については、職員会議やケース検討会議において看護師が中心となって行っています。		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	b
【判断した理由・特記事項等】 「安全計画マニュアル」や「災害対応マニュアル」を策定し、災害時の対応体制の整備が図られています。 避難訓練を月に1回行い、夜間の職員数が少なくなる時間の避難訓練も年2回実施され、子どもの安全確保のための取り組みが、行われています。 発災時に、子どもの養育・支援を継続するための事業継続計画（BCP）の策定が望まれます。		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 事業計画において「年間保育計画表」を策定し、年齢に応じた、食事、排泄、睡眠、あそび、発達等の標準的な養育支援の計画、実施方法が明文化されています。計画の実施の検討や確認は、ケース検討会議で行い、情報の共有に努めています。 「適切なかわりをするためのチェックポイント」が職員それぞれで行われていますが、今後、チェックした記録を残す等、組織的な確認、評価が期待されます。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 標準的な実施方法の見直しは、6ヵ月に1回、ケース検討会議で実施され、自立支援計画書に反映されています。検証、見直しにあたり、保護者からの意見が必要な時は、家庭支援専門相談員が連絡を取り行っています。また、日頃から面談の際等にきめ細やかなコミュニケーションをとり、意見が反映される様な工夫をしています。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【判断した理由・特記事項等】 自立支援計画の策定について、家庭支援専門相談員を責任者として個別対応職員や看護師等の専門職や院長からの意見も踏まえて策定が行われています。 養育記録には、子ども一人ひとりの日頃の生活状況や保護者の状況等が詳しく記載され、それをもとに、具体的なニーズが明示されて、支援の方向性が明示されています。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 自立支援計画の見直しは、6ヶ月に1回、家庭支援専門相談員が中心となり、個別対応職員や看護師等の専門職や院長からの意見も踏まえて見直しが行われています。 保護者からの意見把握については、家庭支援専門相談員が日頃からの面談や連絡により、きめ細やかに行っています。		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 記録について、パソコンのネットワークシステムを平成31年より導入し、情報共有を図っています。 記録内容や書き方の標準化のために、「養育日誌の記入方法」を使用したり、新入職者には、経験年数のある職員がサブの記録者としてついてフォローしています。 職員会議とケース検討会議を毎月行い、施設全体で情報の共有を図っています。		
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 「個人情報保護規定」があり、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定め、職員にも周知しています。 個人情報の取り扱いについて、「乳児院での生活について」を用いて説明を行っています。		

□

内容評価基準（22項目）

A－1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の保障を、職員全員で園内研修を重ね、最善の利益に向けた養育・支援のマニュアルを作成し、権利侵害防止の早期発見もチェックシート（チェックポイント）を活用しながら情報の共有をケース会議・職員会議で、しっかりと話し合いながら、子どもの権利擁護に取り組まれています。		
(2) 被措置児童等虐待の防止等		
①	A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
【判断した理由・特記事項等】 外部から講師「トナリビト」を呼んで、（親を頼れない子ども達）子どもの気持ちに寄り添う勉強会を実施しました。不適切なかかわりの防止の会議も開き、早期発見のために、ヒヤリハットを活用、職員体制の見直し等の検討、取組を進めています。被措置児童等虐待の届出・通知制度について対応マニュアルも、今後、作成し整備する予定です。その後、職員のアドボカシーの共通理解もしていきたいと思います。		

A－2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 乳幼児に対する受容性・応答性の高いかかわりをするために、「担当養育制」をしております。1名の子どもに6人の担当制体制をとりながら、常に職員が傍にすることで、愛着関係を築きながら、「語りかけ」や「おんぶ」「だっこ」などの触れ合いを通して心の安定を図り、家庭的な心地よい状態を共有できるように努めています。気になる子どもには、特別な配慮の関わりもしています。		
②	A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
【判断した理由・特記事項等】 子どもの日々の生活リズムに合わせられるように、ケアカンファレンスで環境を整える話合の取組みがされています。洋服、タンス、食事用の椅子、ベッドや布団等、個々のものを使用して安定した環境に配慮されています。自然に触れる外遊びの中で、養育者の穏やかな言葉かけやスキンシップにより、子どもの発達を支援しています。お天気の日には外遊びしながらのスキンシップも心がけています。		

(2) 食生活		
①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 基本的な命の保障のために必要な乳幼児期の栄養は、月齢別栄養所容量を、栄養士、担当者を含む会議等で話し合いながら、個人の発達を考え、自律授乳を基本とするが、調整能力の不十分な乳幼児にはミルクの量、時間をコントロールしています。一人ひとりの乳幼児の成長の基本的な援助方法等のマニュアルも整備しています。授乳マニュアルに沿って、ミルクも2種類用意され、子どもたちの個々のリズムや体調を見ながら信頼関係の中で、自律授乳を基本としていますが、授乳が難しい乳幼児には、個々の状態に応じた授乳を工夫しています。		
②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 離乳食を進める際の基本的な栄養摂取、開始時期や進め方、量などは個人差がある為、栄養士2名を中心に離乳食のマニュアル等に沿っての献立作成により会議等でしっかりと共通理解しながら切り方、形態、噛む力等を工夫しながら様々な食べ物や味に慣らされて離乳食を進められています。職員会議等でみんなで話し合いをしながら、援助方法も共通理解しています。		
③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】 見た目も楽しくなるような盛り付け方の工夫をしたり、天気の良い日は、お弁当にして外にお出かけしての昼食、栄養士と職員と連携しての行事計画も共有し、手作りのエプロンを長く作りトレーとエプロンが一体化され、姿勢も良くなり、自分で食べようとする意欲を育てています。食事をおいしく楽しく食べるように、調理室が隣のため食事の様子も見ながら、一人一人の発達状況や体調も考慮した料理を工夫しています。		
④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 栄養士と職員と密に連携しながら栄養摂取量に沿って献立を作成しています。栄養士作成の献立表にアレルギーの対応しながらも、味付けや食欲が出るような盛り付けの工夫にも力を入れています。畑に野菜を育て収穫祭でクッキングに繋げることで、発達に応じて、食に興味関心を持ってもらえるようにしています。		
(3) 日常生活等の支援		
①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 個々のタンスに、肌に優しい素材の気候調整の出来る衣類を準備し、衣類は全て個別化し、個人別に収納しています。担当職員が子どもの発達状況や体型、好みを把握して、動きやすさ、着脱のしやすさに配慮して準備しています。地域の方から衣類を頂くこともあり清潔を保つように心がけています。		
②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 乳幼児の睡眠は心身の発達に重要な影響を与える為、室内の温度等の環境設定を整え、寝具も、布団乾燥機や、天日干し等で、湿気対策をしており、快適な環境づくりを進める上で、職員対応マニュアルや自立支援計画、養育計画等の会議で検討しています。午睡時は15分ごとに午睡状態をチェックリストに記入しながら観察しています。		
③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
【判断した理由・特記事項等】 暑い夏は発汗に伴い2回入浴したりと季節に合わせて工夫し、お風呂場には、おもちゃ等の工夫もしながら、子どもたちの皮膚の状態や体調など全身観察も兼ねております。タオルやバスタオル等個別に準備し衛生面の工夫もしています。年に1回、(職員3人子ども3人)旅行に出かけ職員が子どもと親子のように、一緒に入浴するようにして家族のような信頼関係を築いています。		

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】 トイレトレーニングマニュアルに沿って、個々の幼児のリズムに合わせ、排せつ時が心地いい時間になるように、やさしい言葉かけや身体マッサージなど看護師と協力しながら、援助方法を工夫しています。チェックシートを活用して時間的に便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持たせています。発達年齢に応じて、性別によって考慮もしております。		
⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
【判断した理由・特記事項等】 発達段階に応じて、玩具等の、色、形や音色に工夫し、ふれあい遊びを通し、五感を育てながら情緒の育成を図り、個別で遊べる時間を設けたり、発達段階に応じて遊具を取替えたり、ゾーン別に違った玩具や遊具を準備し遊びを通じて身体機能の発達を促しながら、乳幼児が楽しく遊べる工夫をしています。		
(4) 健康		
①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
【判断した理由・特記事項等】 毎月1回の定期健康診断で、身体発育の状況や精神・運動発達・情緒的問題等の総合的な診察結果を、ケース会議で職員が共通理解しながら、毎日2回の検温を熱計表に記載し自覚症状やケガ等も記載する事で、異常がある場合も素早く異常に職員全員が気付ける体制づくりにしています。適宜に予防接種も行っています。ミルクや離乳食を開始した時には給食と看護師の連携を密にしながら対応しています。		
②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
【判断した理由・特記事項等】 看護師が中心となり、健康チェック、異常の早期発見に努め、異常の早期発見に努め、異常時は直ちに対応しています。健康観察記録や服薬管理表などの管理ツールを活用して、嘱託医や専門医との連携を取りながら、異常所見の場合は、速やかに連絡相談できる連携体制をとっています。服薬管理は、チェック表を基に、更に誤薬防止のために、ダブルチェックを行っています。急変時は、指定の病院と連携を取っています。現在は、発達支援児はいませんが、療育計画・発達支援計画などの支援プログラム等の作成はあり、松橋支援センターとの連携も来ています。		
(5) 心理的ケア		
①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 心理士の配置が無い為、看護師が中心となり、児童相談所の心理士に色々と専門的な心理支援は相談しています。現在は、支援が必要な保護者等はいらっしゃらないが、乳幼児「乳児院における心理職のガイドライン」に沿って支援の研修も行っています。		
(6) 親子関係の再構築支援等		
①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 あまり面会の無い、保護者に対しては、日常生活の様子や写真や手紙を送ったり、電話で報告しています。家庭支援専門相談員が中心になって、児童相談所との連携を図り、家族と各関係機関には信頼関係を構築する為にも、八代乳児院だよりを送付しています。		
②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 家族支援専門相談員による、親子関係再構築のための、家庭復帰支援計画書を作成し、児童相談所等と定例的かつ必要に応じて協議しながら、子どもと家族との関係調整を進めています。面会・外出・一時帰宅後の乳幼児の様子も、注意深く観察しながら、サービス資源の提供などのソーシャルワークも、児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けて、里親への支援も含め連携を図っています。		

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア		
①	A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】 児童相談所や双方の家族支援専門相談員を中心に連絡を取っています。家庭支援専門相談員が中心となり、退所後、子どもが安定した生活を送る事が出来る様に、児童相談所や関係機関と自立支援計画で連携を図りながら、退所後の支援を行っています。退所後、子どもの親から連絡がある場合は、情報交換をしながら共通理解をしています。		
(8) 継続的な里親支援の体制整備		
①	A20 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
【判断した理由・特記事項等】 里親支援専門相談員1名を配置し、継続的な里親支援の体制を整備し、里親委託の推進等も児童相談所の担当児童福祉司と中長期的計画に沿って、里親委託にいたるまで丁寧な連携を進め、その後も里親家族への訪問や電話相談に取り組んでいます。		
(9) 一時保護委託への対応		
①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 受け入れ入所時に、一時保護の子どもは、児童相談所に病院受診をお願いしています。一時保護児は、年間で10名から15名であり、マニュアルに沿って、一時保護委託を受ける体制が整備され、児童相談所と連携して、情報共有とアセスメントに努めています。一時保護後の養育環境の確保も多様な職種が連携しながら、アセスメントに基づく支援をしています。		
②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 緊急一時保護委託はパンフレットにも記載されており、緊急一時保護を受ける体制が整備されており、医療機関との連携で、1日の観察期間を設けて感染症や潜伏期間等への対応もできています。緊急の為、多職種との連携したアセスメントが実施されています。緊急一時保護のマニュアルに沿って休日・夜勤でも受け入れる体制づくりをしています。		